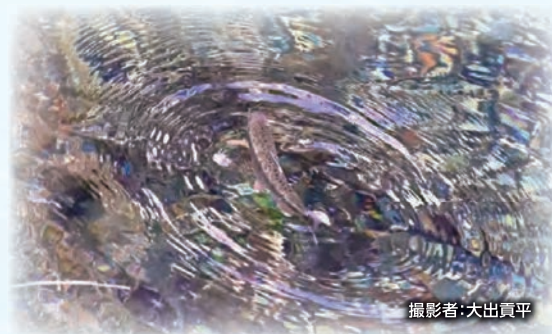


「いつも魚にあえる川」づくりで 笑顔と魚を取り戻そう！

綺麗な川をのぞいた時、
魚たちが見えると嬉しくありませんか？



撮影者：大出貢平



魚の見える川では、釣り人や地域住民から
「守りたい」との気持ちが生まれ、
魚を見に人が集まるようになります。

人が集まると交流が生まれ、釣りを教えたり、
川のゴミ拾いが行われるようになります。
さらに、周辺の飲食店の売上が上がったり、
新たな産業(特産品や釣りガイド)が生まれます。



今からでも遅くはありません。
大切な川や魚を守ることで、
地域の魅力を再発掘しましょう！



パンフレットについてお問い合わせの場合は、(国研)水産研究・教育機構
宮本までご連絡ください。E-mail : miyamoto_kouta37@fra.go.jp

いつも魚にあえる川づくり～渓流魚の漁場管理～(イワナやヤマメ・アマゴ)

【発行】水産庁 令和5年2月

【著者】(国研)水産研究・教育機構 宮本幸太

群馬県水産試験場 山下耕憲、長野県水産試験場 山本聡・下山諒、
岐阜県水産研究所 岸大弼、滋賀県水産試験場 幡野真隆・菅原和宏

【協力】高原川漁業協同組合 徳田幸憲、大妻女子大学 小関右介

本研究成果は水産庁「環境収容力推定手法開発事業」により実施されたものです。